



# 一般相対性理論 誕生100年記念市民講座

— 仙台開催 —

2015年11月25日、重力の法則と時空の構造を記述するアインシュタインの一般相対性理論は誕生100年を迎えます。それを記念して、一般相対性理論が持つ意味と関連する研究の最先端にふれて頂く市民講演会を開催します。この分野の第一線で活躍する研究者たちが、一般相対性理論と関連する最先端の研究について平易な言葉で語りかけます。

| 講演 |

## 「一般相対性理論と宇宙論」 早稲田大学先進理工学部 前田 恵一 教授

アインシュタインが1915年に発表した一般相対性理論では、重力を時空の歪みととらえニュートン重力理論の相対論化に成功しました。この曲がった時空の考え方は、宇宙そのものを理解することを可能にします。アインシュタインが考えた永遠不滅の静的宇宙から現在のビッグバン膨張宇宙まで、時空のダイナミクスとしての宇宙を紹介します。さらに宇宙の始まりや現代宇宙論最大の謎である宇宙の加速膨張についても解説します。

## 「一般相対性理論と天文学」 東北大学理学部 二間瀬 敏史 教授

一般相対性理論ができてから100年の間に、机上の空論と思われていた理論は宇宙を理解するために必要不可欠のものになりました。これには観測技術の発達が大きな役割を果たしています。講演ではアインシュタインの人物像と一般相対性理論が予言する中でも特に不思議なブラックホールと重力波について最近の天文学での話題をお話をします。

# 2015年11月14日(土) 13:30~16:20

東北大学 知の館 (TOKYO ELECTRON House of Creativity) 3階 講義室

〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1-1 東北大学 片平キャンパス 内

[定員] 100名 (入場無料)

[参加申込] 氏名・年齢、住所、所属(大学名・高校名など/身分・学年など)を明記の上、  
**gmunu100@tuhep.phys.tohoku.ac.jp** までメールを送付してください。

[お問合せ] 東北大学理学部 綿村 哲 (watamura@tuhep.phys.tohoku.ac.jp)

詳細 URL <http://www.tuhep.phys.tohoku.ac.jp/~gmunu100/>

主催：東北大学知の創出センター 企画協力：一般相対論誕生100年記念市民講演会委員会

※この講演会は2015年知のフォーラムテーマプログラム「Fundamental Problems in Quantum Physics: Strings, Black Holes and Quantum Information (量子物理学における基本的問題)」のスペシャルイベントの一つです。

※「知のフォーラム」とは、ノーベル賞受賞者など世界の第一級研究者と若手研究者や学生が日常的かつ機動的に柔軟な議論を行うことを通じて、人類共通の課題の解決に挑戦し、将来のグローバル・リーダーを養成するなど、国際的な頭脳循環のハブとして「知の飛躍」を創出する環境を醸成し、研究力強化を図る訪問滞在型研究プログラムです。



[www.tfc.tohoku.ac.jp](http://www.tfc.tohoku.ac.jp)

Supported by



TOKYO ELECTRON